

高橋由和（たかはし よしかず）

## 略歴

- 1989.4 山形県川西町の体育指導員（現在のスポーツ推進員）として地区公民館に関わる。
- 2002.4 公民館の公設民営化により吉島地区社会教育振興会勤務 事務局長に就任
- 2004.6 全世帯加入NPO法人化に向けて着手 マイマイスポーツクラブ設立
- 2007.4 全世帯加入NPO法人きらりよしじまネットワーク設立 事務局長就任
- 2007.7 県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会設立 事務局長就任
- 2009.4 スポネットおきたま設立 事務局長就任
- 2011.5 中間支援組織おきたまネットワークサポートセンター設立 事務局長就任 2022.3 退任
- 2023.5 一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター理事に就任

## 公職等

- ・内閣府 小さな拠点・地域運営組織の形成推進に関する有識者懇談会委員（2016～2022）
- ・総務省 過疎問題懇談会委員（2016～）
- ・総務省 地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する研究会（2016～）
- ・山形大学教育学部・教育実践研究科非常勤講師（2017～）
- ・山形大学地域教育文化学部 地域教育文化学科常勤講師（2017～）
- ・山形県 地域コミュニティー支援アドバイザー（2004～）
- ・北海道 鷹栖町持続可能な地域形成支援アドバイザー（2020～2022）
- ・山形県 小国町パートナーシップモデルアドバイザー（2022）
- ・山形県 庄内町地域ビジョンづくりアドバイザー（2021～）
- ・山形県 白鷹町福祉計画アドバイザー（2021～）

## きらりよしじま概要

2002年、町の行財政改革に伴う公民館の公設民営化を契機とし、形骸化の様々な課題が見られた地域を再生させるために当時の地区公民館事務局の有志を主に新たな組織の立ち上げに着手。

2004年、地域内の地縁で組織される各種団体を統合し新たな地域運営組織の構築を住民に提案した。

住民説明と住民ワークショップを丁寧に繰り返し、少しずつ合意形成を図り設立までに3年の準備期間を設けて2007年に全世帯加入のNPO法人を設立。

住民ワークショップ（決める会議・決めない会議）で地域ニーズを把握し、わがこと化、まるごと化を図り、5か年の地区計画を徹底したPDCAで実践。

幼少期からの人材育成に取り組み、地域の若者層をNPO法人の事務局として組織に体系化するとともに、課題解決の技術やツール活用等を学ばせ、将来の担い手育成を計画的に実践している。

地区内の幼稚園、小・中学校との連携体制を構築し、学校支援活動や地域福祉の学習提供などコミュニティスクールにも参画し学校教育に積極的に関与。幼少期からの地域活動への関わりを促進し、青少年の健全育成を図る。生活支援アプリやAIスピーカーを活用した高齢者の生活支援にも取り組む。

「協働」に対して行政内部で認識の違いがあるなどの課題があったため、行政が地域の協働提案を受け入れる体制を整備するために積極的に行政との対等な関係の構築に関与し創発型の協働を推進している。

行政と協働し、21の自治会活動を補完する「小さな役場」としての地域のプラットフォームを機能させている。